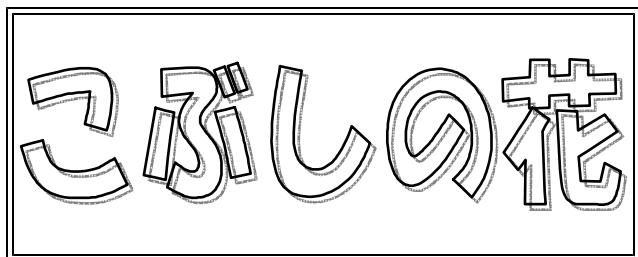


①人に優しくものに優しい子 ②学習に進んで取り組む子 ③しっかりあいさつする子



花ことば
信頼・友情

平成31年度・令和元年度
美作市立東栗倉小学校
学校だより No. 9
令和2年1月7日発行

あけまして おめでとうございます

令和2年(2020年)、新しい年の始まりです。皆様方におかれましては、ご家族おそろいで気持ちのよい新年をお迎えのこととおよろこび申し上げます。旧年中は、本校教育の推進のため、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



今年の干支は子(ね-ねずみ)。ねずみは繁殖力が高く、どんどん増える。別の言葉に例えるならば、繁栄する、高まる、つまり何事も上昇傾向になると言えるのでしょうか。そして、今年はオリンピックイヤー「TOKYO オリンピック」があります。日本選手の活躍が期待され、ますます上昇ムードに包まれることと思われます。

さあこの「子年」、子どもたちはどんな活躍やどんな上昇を見せてくれるでしょうか。私たち職員も今年の上昇ムードに乗って、子どもたちの健やかな成長をしっかりとサポートし、実りある学校づくりに努めていきたいと思ひます。どうか本年もよろしくお願いいたします。

十二支のはなし



毎年、新年を迎えると干支に関わることわざや言葉を調べてみるのですが、ねずみに関することわざを紹介します。「窮鼠猫を噛む」というのがあります。意味は(追い詰められた鼠が猫に噛みつくように、弱者も逃げられない窮地に追い込まれれば強者に必死の反撃をする)という意味です。ほかにも調べてみたら、ねずみとねこに関することわざが多いのです。調べただけでも6つもありました。どうも、ねずみとねこは切っても切れない関係のようです。

さて、十二支の話です。神様が「1月1日に私のところに新年のあいさつに来た十二番目までの者を1年間ずつ大将にしてやるぞ。」というお触れを出しました。そして動物たちは1月1日に神様のところへ向かうのですが、1月2日に行けばよいとねずみにだまされたねこは、1日遅れで神様のところへ行きました。このことで、ねこは十二支になれず、それ以後ねことねずみの仲が悪くなったという話が、本になっています。

こぶしっ子は、ねことねずみの関係ではない、なかよし集団であり続けますように。

3学期のスタート

子どもたちは楽しい冬休みを過ごし、白い息を吐きながらも元気に登校してきました。3学期から、徒歩登校にもどりました。雪道、車には十分注意しながら、登校してほしいものです。

始業式(幼稚園と合同)では、いつものことながら「いちばん短い学期。1日1日を大事に過ごそう。次の学年の準備をしよう。」と話しました。学習・生活のまとめの学期。めあてをもって過ごしてほしいと思ひます。引き続き、保護者の方々のご協力をお願いいたします。



校長 井上 吉和

「学校評価アンケート」集計結果のお知らせ

「学校評価アンケート（保護者対象）」の集計結果をお知らせいたします。皆様からいただいた貴重なご意見を参考とし、より良い学校をめざして努力したいと考えております。アンケートの回収率は100パーセントでした。ご協力に感謝申し上げます。

保護者アンケート集計

回答率100%

■ 思う ■ だいたい思う ■ あまり思わない ■ 思わない

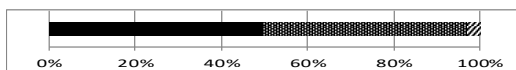
1 学校へ行くのが楽しい。



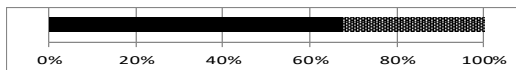
2 授業は楽しく、わかりやすい。



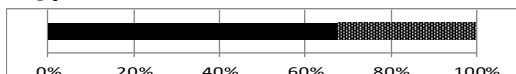
3 学校の行事が楽しみである。



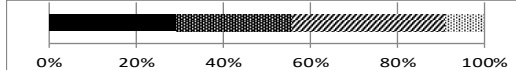
4 自分から友達、先生、お客様、地域の方などにあいさつをするようにしている。



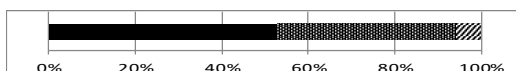
5 授業や服装、頭髪などの生活のきまりを守っている。



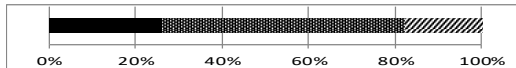
6 家で授業の予習や復習をしている。



7 委員会活動に積極的に参加や協力をしている。



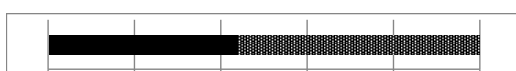
8 学校には相談できる先生がいる。



9 先生は自分がした努力を認めてくれる。



10 学校の施設や教室の設備が整っている。



②少人数ならではの個性尊重ときめ細かな指導・支援ができています。

③子どもたちは学年を超えて仲が良く、上下学年の交流ができています。

(2) 課題として

①児童数の減少に関して、今後の東栗倉小学校がどうなるのか不安である。

②大規模校では経験できない小規模校ならではの利点を生かした取り組みや声かけをしてほしい。

③言葉遣いやあいさつに気になる面がある

※自由記述のすべてを掲載していませんが、職員ですべて目を通し課題解決に向けての取組を進めます。学校だけで解決できないものもございます。PTA・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 東栗倉小学校は子どもたちにとって楽しい場所

アンケート1、アンケート2とも昨年度と同様に高い水準を保ち、行事を楽しみにするなど、子どもたちにとって学校がとても楽しく過ごせる居場所になっていることがうかがえます。学校の教育活動に対する、保護者の皆様の肯定的なご理解があつてのことと感謝いたします。

授業については、昨年度より「そう思う」の割合が10%近く向上していますが、さらに工夫改善の余地があり、今後も「楽しくわかりやすい」授業づくりを目指していきます。

2 生活や学習の基礎・基本が大切

学校職員や来校者の方へのあいさつはよくしていると感じています。家族はもちろん地域の方へも、自然にあいさつができる人として育ててほしいと願っています。

また、生活のきまりを守ることにについての評価ですが、アンケート5については「そう思う」が10%向上し、「あまり思わない」が0%になりました。規範意識が向上しています。今後も、おうちの方と協力し、さらなる向上に努めていきたいと思います。

アンケート6の授業の予習復習については、昨年度と変わっていません。少し残念に感じます。基礎学力の定着に向けて、おうちでもより一層の声かけをお願いします。

学校もがんばります。家庭での支援にも期待しています。

3 学校関係職員は努力します

東栗倉小学校は、どの学年も学習・生活ともに個別指導ができています。担任の先生はもちろん、他の職員も日々子どもたちに声を掛け、がんばりをほめるように心がけています。

しかし、アンケート8の結果から職員は保護者の相談相手として信頼されるよう、さらに努力する必要があります。アンケート結果を真摯に受け止め、日々努力してまいります。学校相談日の設定やハートポスト、スクールカウンセラーの活用などについても、引き続きお知らせしていきます。

4 自由記述のご意見から

(1) 良い面として

①安全面やトラブル対応についての対応は、安心して子どもを通わすことができています。